

専門職が支える地域包括ケア研修会 実施要領

1. 趣旨

住民が病気をもちつつも住み慣れた地域で暮らし続けることができる地域づくりを推進するためには、在宅医療・介護の関係機関や多職種が各々の専門性を発揮して患者を支える体制が必要であり、そのためには各機関・職種の相互理解と連携が求められています。

在宅医療連携拠点チームかまいしでは、在宅医療の入口となる地域の基幹病院の退院調整ナース等の退院調整に関する技術の向上と多職種の相互理解及び連携強化のため、県立釜石病院と連携・協力し、研修会を実施します。

2. 講師

在宅ケア移行支援研究所 宇都宮宏子オフィス代表 宇都宮宏子氏

3. 内容・テーマ

第一部 退院支援アクションミーティング

第二部 多職種対象地域包括ケア講演会

住み慣れた地域でその人らしく最後まで暮らし続けるために【Aging in place】
～地域包括ケアを推進するために私たちがすべきこと～

4. 日時

第一部 平成 29 年 3 月 16 日(木) 15 : 15～17 : 15

第二部 同上 18 : 15～20 : 00 開場 17 : 45

5. 会場

県立釜石病院 2 階大会議室

6. 対象・定員

第一部 県立釜石病院の退院調整に関わる看護師 15 名程度

第二部 釜石・大槌地域の医療・介護従事者、行政 100 名

※県立釜石病院関係者 50 名、その他 50 名を想定

7. 主催

県立釜石病院、釜石市（在宅医療連携拠点チームかまいし）